

観点 1 生活や技術への関心，意欲，態度 2 生活を工夫し創造する能力 3 生活の技能 4 生活や技術についての知識，理解

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
<b>4編 D(1)</b> <b>情報に関する技術</b>  <b>第1章</b> コンピュータと情報通信ネットワークの活用  時間（1～6） 4～7月 ・コンピュータの仕組み ・デジタル化、データ化 ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報モラル	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報ネットワークについて関心を持ち，ネットワーク環境が与える影響を考えている。</li> <li>ハードウェアとソフトウェアの役割・機能について関心を持ち，まとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンや携帯電話などの情報端末からアクセスできるインターネットなどの情報ネットワークに関心を持ち，ネットワーク環境が与える影響を考えている。</li> <li>コンピュータのハードウェアと基本・応用ソフトウェアの関係について関心を持ち，意欲的にまとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言</li> <li>授業態度</li> <li>提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>教材の工夫</li> <li>授業展開の工夫</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用目的に応じて，コンピュータの機能を選択することができる。</li> <li>情報伝達の方法を工夫し，適切な情報伝達を行おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの使用目的に応じて，適切にコンピュータの機能を選択することができる。</li> <li>インターネットやメール等の様々な情報伝達手段を工夫しながら活用し，条件に応じて適切に情報伝達を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物の点検</li> <li>授業中の発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>机間巡視</li> <li>授業内容の工夫</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの基本的な操作をすることができる。</li> <li>情報モラルについて理解し，適切に情報発信ができるか。</li> <li>情報に関する様々な権利を適切に扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリックやドラッグ，ダブルクリック等のコンピュータを使う上で必要な技能を身につけている。</li> <li>情報を適切に発信するために必要な情報モラルについて理解し，適切に情報発信できる。</li> <li>個人情報などの個人の権利や著作権などの者の権利を尊重し，適切に情報を扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習中の観察</li> <li>作品の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>口頭での指示</li> </ul>

	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用ソフトウェアと基本ソフトウェアの働きの違いについて理解している。</li> <li>・ 情報社会の特質や情報化の進展がもたらす影響について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用ソフトウェアと基本ソフトウェアを比較し、機能の違いについて理解している。</li> <li>・ インターネットなどの身近な情報伝達手段の原理を理解し、情報化の進展が社会もたらす影響について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験</li> <li>・ ワークシート点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導</li> <li>・ 補習</li> <li>・ 机間巡視</li> <li>・ 教材の工夫</li> </ul>
<b>4編 D(2)</b> <b>情報に関する技術</b>  <b>第2章</b> デジタル作品の設計・製作	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータの利用形態に関心を持ち、ソフトウェアの特徴を調べようとしている。</li> <li>・ 様々な形態のマルチメディアに興味を持ち、調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータの利用形態に関心を持ち、画像処理・文書処理・表計算処理ソフトウェアなどの応用ソフトウェアの機能や特徴を調べようとしている。</li> <li>・ デジタルカメラや音声作成ソフト、アニメーション作製ソフトなどの多様なマルチメディアに興味を持ち調べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の発言</li> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導</li> <li>・ 教材の工夫</li> <li>・ 授業展開の工夫</li> </ul>
時間 (7~14) 9~1月 ・ デジタル作品の構成 ・ デジタル作品の設計 ・ 製作	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用ソフトウェアを工夫して活用し、情報を処理しようとしている。</li> <li>・ 自分の表現したいことに合わせて適切にマルチメディアを選択することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用ソフトウェアを工夫して活用し、数値や文章などの情報処理することができる。</li> <li>・ 自分の作りたい作品を作るために必要なマルチメディアを適切に選択することができる。</li> <li>・ 様々なマルチメディアの特徴を活かした製品の構想ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出物の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導</li> <li>・ 机間巡視</li> <li>・ 授業内容の工夫</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々なメディアを処理するソフトウェアを適切に使うことができる。</li> <li>・ 自分の作りたい作品の構想図を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図形処理ソフトウェアやアニメーション作製ソフトウェア、サウンド処理ソフトウェアなどの応用ソフトウェアの基本的な操作ができる。</li> <li>・ 自分の作品に必要なソフトウェアなどを構想に取り入れながら、構想図を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 実習中の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導</li> <li>・ 口頭での指示</li> <li>・ 補習</li> </ul>

	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用ソフトウェアの特徴と利用方法について理解している。</li> <li>・それぞれのマルチメディアの仕組みを理解している。</li> <li>・マルチメディアを評価する際の評価のポイントを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書処理・画像処理・データベース処理などの応用ソフトウェアの機能や用途を理解している。</li> <li>・アニメーションの作成方法やコンピュータによる音の記憶方法、コンピュータによる画像処理の仕組みを理解し、説明することができる。</li> <li>・マルチメディアの特徴を理解し、マルチメディアの利点が活かされた作品になっているかが理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート点検</li> <li>・作品の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導</li> <li>・机間巡視</li> <li>・教材の工夫</li> </ul>
<b>4編 D(1)</b> <b>情報に関する技術</b>  <b>第4章</b> 情報技術の評価・活用  時間(15~18) 2~3月 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術の評価</li> <li>・情報技術の的確な活用</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的・環境的側面から解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化による社会の変化について興味を持ち、不正アクセスや個人情報の漏えいなどの現代社会の問題を解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導</li> <li>・教材の工夫</li> <li>・授業展開の工夫</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に関する技術の課題に対して、工夫して改善しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不正アクセスや個人情報の漏えいなどの情報化社会の課題に対して、自分の力で改善しようとして工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導</li> <li>・授業内容の工夫</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を扱う際に、情報技術の評価し適切な使い方で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンや携帯電話などで情報を収集・発信する際に的確な情報技術を判断し、活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導</li> <li>・口頭での指示</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術の的確な活用法を理解し説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや情報掲示板などの情報技術の特性について理解し、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導</li> <li>・机間巡視</li> <li>・教材の工夫</li> </ul>

<p>4編 D(2) 情報に関する技術</p> <p>第3章 プログラムによる計測・制御</p> <p>時間(7~12) 2~3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計測制御の仕組み</li> <li>プログラムの役割と機能</li> <li>簡単な計測・制御をしよう</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な計測・制御やプログラムに関心を持ち、プログラムの機能や役割について考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを動かす基本プログラム(OS)の機能や働きに関心を持ち、プログラムの機能や役割について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言</li> <li>授業態度</li> <li>提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>口頭での指示</li> <li>教材の工夫</li> <li>授業展開の工夫</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムを簡易化するために、工夫して構成しようとしている。</li> <li>目的の動きをさせるためにプログラムを工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの構成の仕方を理解し、プログラムを簡易化するために、プログラムの順番や構成を工夫しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの点検</li> <li>授業観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>机間巡視</li> <li>授業内容の工夫</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>フローチャートを活用し、プログラムの流れを作ることができる。</li> <li>設計に基づき簡単なプログラミングができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの流れを構成し、理解しやすくするためにフローチャートを活用できる。</li> <li>設計に基づいて自分のさせたい動きをさせるプログラムを作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察</li> <li>作品の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>口頭での指示</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを働かせるプログラムについて説明することができる。</li> <li>プログラムの構成や仕組みを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを働かせる基本プログラムの必要性和役割について理解している。</li> <li>分岐・繰り返し・選択などのプログラムの構成や仕組みを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>ワークシート点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>補習</li> <li>机間巡視</li> <li>教材の工夫</li> </ul>